

# U.S. Indicators

## 米国 貿易戦争開始も堅調さを維持(18年6月耐久財受注)

: 2018年7月27日 (金)

～コアの資本財受注が一段と強まっており機械設備投資の堅調持続を示す～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫		
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機
17/06	▲0.1	+0.2	(+5.3)	▲0.0	+7.1	▲0.2	(+6.3)	▲0.7	+0.4	+0.8	+0.9
17/07	▲0.1	▲0.1	(+4.8)	+0.7	▲7.4	+0.9	(+6.1)	+1.2	+0.6	+0.5	+0.4
17/08	+0.8	+1.3	(+6.2)	+1.4	+2.7	+0.8	(+7.1)	+0.6	+0.4	+0.4	+0.1
17/09	+1.0	+1.0	(+7.2)	+1.1	+4.7	+1.7	(+9.4)	+5.7	+1.1	+0.7	+0.7
17/10	+0.2	+0.8	(+7.8)	+0.9	▲4.1	+0.8	(+9.2)	▲1.9	+0.2	+0.4	+0.2
17/11	+1.5	+0.9	(+8.0)	+0.5	+2.2	▲0.4	(+8.0)	▲3.0	+0.1	+0.3	▲0.1
17/12	+0.3	+0.8	(+7.8)	+0.7	+3.2	+1.6	(+9.7)	+2.8	+0.6	+0.6	+0.7
18/01	+0.3	▲0.1	(+6.8)	▲0.3	▲4.2	▲0.9	(+6.5)	▲1.2	+0.2	+0.3	+0.1
18/02	+0.7	+1.0	(+7.7)	+1.0	+4.5	+1.3	(+7.9)	+1.6	+0.5	+0.5	+0.5
18/03	+0.8	▲0.1	(+6.6)	▲0.7	+2.7	+0.5	(+7.2)	▲1.0	+0.2	+0.5	+0.4
18/04	▲0.0	+1.2	(+8.5)	+0.8	▲1.0	+1.9	(+9.0)	+2.0	+0.4	+0.4	+0.2
18/05	+0.2	+0.6	(+7.7)	+0.2	▲0.3	+0.3	(+8.4)	+0.7	+0.3	+0.3	+0.3
18/06	+1.7	+0.6	(+8.2)	+1.0	+1.0	+0.4	(+9.1)	+0.6	▲0.1	+0.5	+0.3

**6月の耐久財受注は前月比+1.0%と拡大に転じ、除く輸送機器は同+0.4%と加速した**

18年6月の耐久財受注は、前月比+1.0%（前月同▲0.3%）と増加に転じたものの、民間航空機の伸びが小幅にとどまったため市場予想コンセンサスの同+3.0%を下回った（5月分が0.3%p上方修正）。ただし、航空機メーカーの6月の受注台数は大幅に増加しており、耐久財受注統計が今後上方改定される可能性がある。また、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比+0.4%（前月同+0.3%）と市場予想コンセンサスの同+0.5%を下回ったが、5月分が0.6%p上方改定されたことを考慮すると、市場予想よりも強い内容。6月には、米中に加えて、EU、カナダ、メキシコなどが輸入品に対する関税賦課を行うなど、貿易戦争が始まったが、現時点では悪影響は限定的なものにとどまっている。

業種別では、一次金属が減少幅を拡大したほか、一般機械が鈍化した。一方、加工金属、電気機械関連、輸送機器が増加に転じた。また、コンピューター・電子製品関連、その他耐久財はともに前月と同じ伸び率を維持した。なお、規模の最も大きい輸送機器では、自動車、民間航空機が増加に転じたうえ、軍用航空機が高い伸びを維持した。

**6月の輸送機器を除く耐久財受注の拡大モメンタムは一段と強まったうえ、前年比でも高い伸びを維持**

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、6月の耐久財受注が+9.6%（前月+14.4%）と鈍化した一方、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は+12.5%（前月+10.0%）と加速しており、耐久財受注は勢いを強めていると判断される。貿易戦争が始まったが、国内需要の好調に加えて、海外需要の拡大を背景に、除く輸送機器は堅調さを維持している。

前年比では、1-6月期の耐久財受注は+8.4%（1-5月+9.9%）、輸送機器を除く耐久財受注が+8.1%（+8.2%）と堅調なペースで拡大している。業種別の伸び率を高い順にみると、商品市況の上昇により一次金属が+16.1%（+15.8%）、民間航空機が+15.2%（+52.3%）、加工金属が+11.3%（+11.8%）、コンピューター・電子製

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

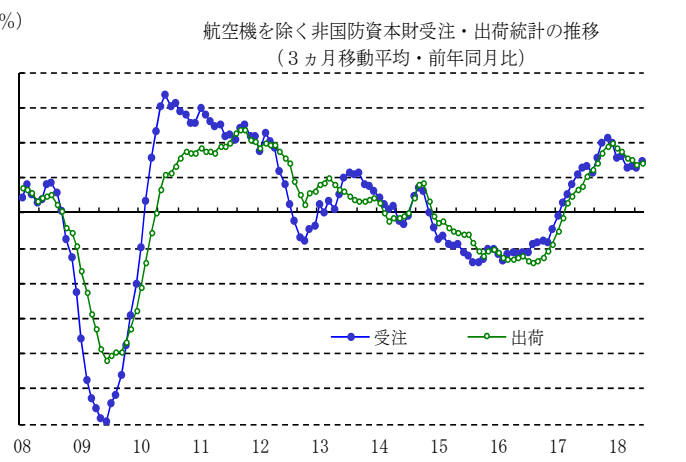
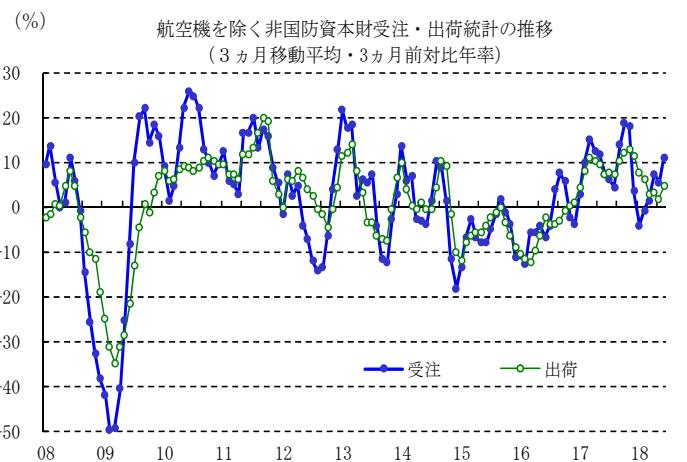
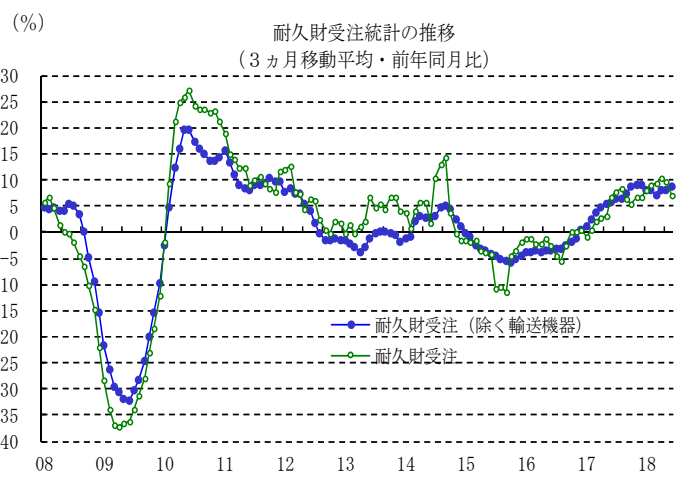
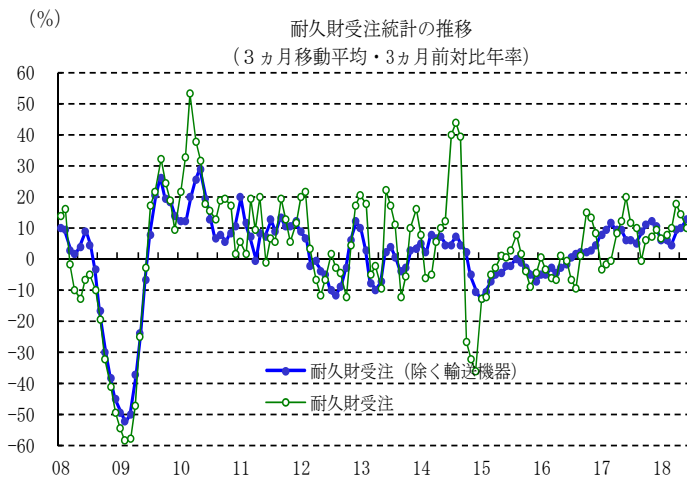
品関連が+7.6% (+7.4%)、一般機械が+6.6% (+6.6%)、自動車・同部品が+5.1% (+5.6%)、電気機械・同部品が+5.0% (+5.0%)と続いた。一方、軍用航空機は▲1.7% (▲18.7%)と減少幅を大きく縮小した。

**6月の非国防資本財出荷が前月比+1.0%、受注が+0.6%と堅調**

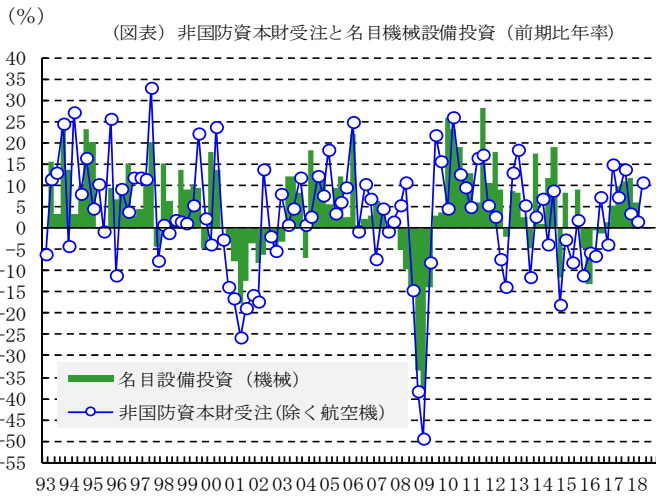
設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が6月に前月比+1.0%（前月同+0.2%）と市場予想の同+0.4%を上回った（4、5月合計+0.1% p 上方改定）。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+4.6%（前月+1.7%）と加速したことから、機械設備投資の拡大の勢いは持ち直している。4-6月期は、前期比年率+4.6%（1-3月期前期比年率+2.9%）と加速しており、4-6月期の機械設備投資の拡大ペースが速まったことを示している。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、6月に前月比+0.6%（前月同+0.7%）と市場予想の同+0.5%を上回った（4、5月0.2% p 上方改定）。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+10.9%（前月+5.2%）と高い伸びとなり、拡大モメンタムは一段と強まっている。さらに、4-6月期では、前期比年率+10.9%（1-3月期前期比年率+1.5%）と大幅に加速、設備投資の堅調持続を示唆している。

トランプ政権の通商政策に対する不透明感が高まっているものの、輸入代替のための投資も必要となるほか、減税等による経営者マインドの改善や企業業績の拡大が続くと予想されることから、18年後半も機械設備投資は拡大を続けると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所) 米商務省データより作成

